

株式会社エクストランス

X-MON3

メール送信トラブルシューティング

まえがき

障害発生時、指定したアドレスへうまくメールが送信されなかった場合、X-MON のメール送信設定が誤っている場合があります。メール送信の制御に関わる設定項目は複数個所に点在している為、1 つずつ確認していく必要があります。

本マニュアルでは、メール送信設定の誤りに関し記載しており設定以外（サーバ設定など）での設定誤りに関しては記載しておりません。

本書における解説環境

X-MON ver3.9.0

本書以外のマニュアルについては X-MON サポートページにログインしてご確認ください。

<https://x-mon.jp/support/>

2016 年 1 月

改訂履歴	
2016 年 1 月	初版
2019 年 9 月	第三版

Copyright © 2004 X-TRANS, Inc. All Rights Reserved.

内容

まえがき.....	1
1 障害発生時、うまくメールが送信されない	3
1.1 X-MON 全体の通知設定が無効になっている	6
1.2 X-MON サーバのメール送信設定が誤っている	8
1.3 障害ステータスがハードになっていない.....	9
1.4 エスカレーション設定がメール送信を行わない設定になっている	11
1.5 ホスト/サービス設定がメール送信を行わない設定になっている	14
1.6 ユーザ設定がメール送信を行わない設定になっている	16
1.7 通知を行う時間帯から外れている.....	18
1.8 通知時間帯設定から該当時間が除外されている	20
1.9 メールアドレスが誤っている	22
1.10ホストダウンだけが送信されサービスが送信されない.....	24
2 再度テストメールを手動で送信する	26

1 障害発生時、うまくメールが送信されない

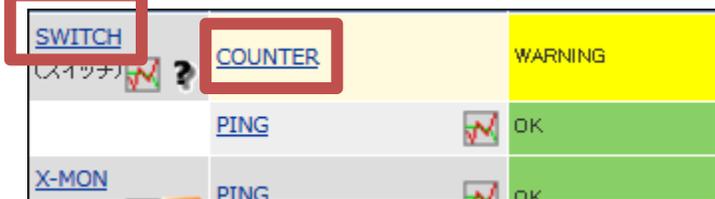
まず初めに以下の点をチェックしてください。

障害発生時にメール通知を行ったか履歴を確認していきます。

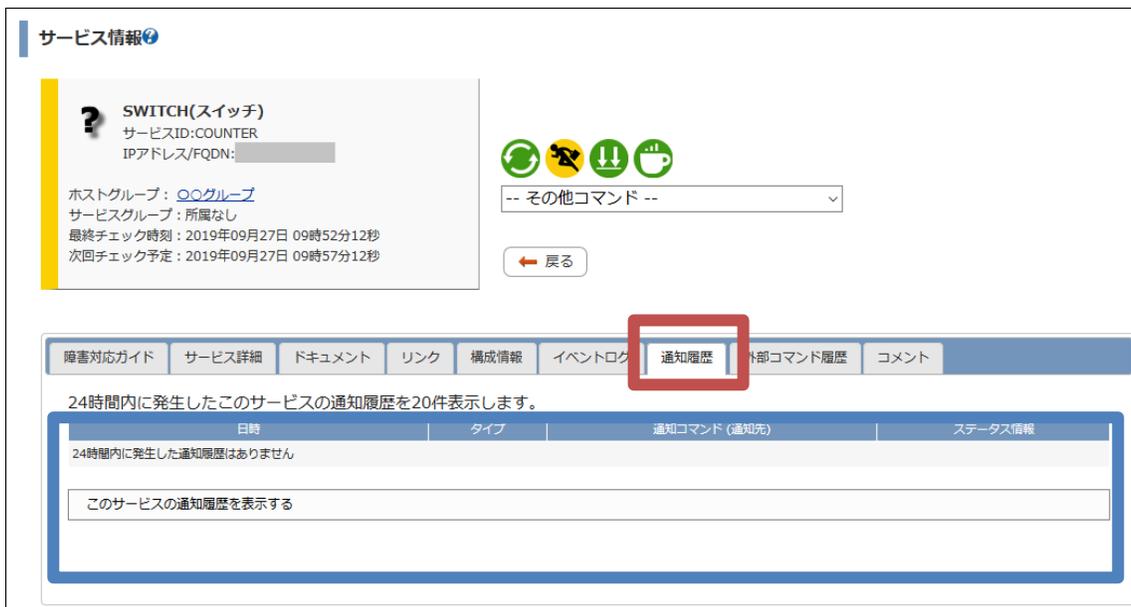
監視メニューを開き「サービス一覧表示」をクリックします。



メール通知を行ったホスト、またはサービス名をクリックします。



「ホスト情報」画面、または「サービス情報」画面で以下赤枠内「通知履歴」タブをクリックし、青枠内 24 時間内に発生したこのホスト/サービスの通知履歴を確認します。



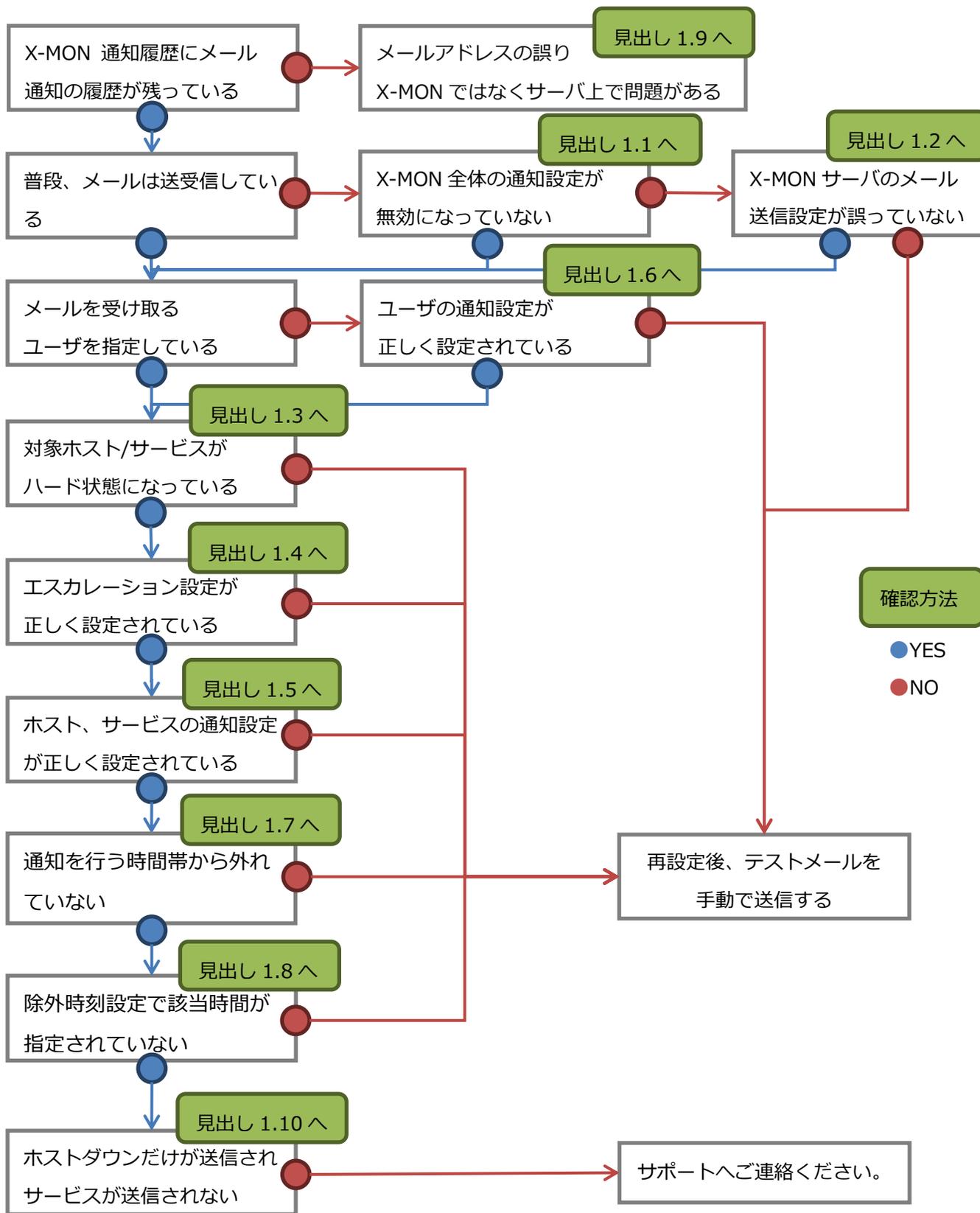
青枠内に通知履歴が表示されていない場合、以下の可能性があります。

- 1.1 X-MON 全体の通知設定が無効になっている
- 1.2 X-MON サーバのメール送信設定が誤っている
- 1.3 障害ステータスがハードになっていない
- 1.4 エスカレーション設定がメール送信を行わない設定になっている
- 1.5 ホスト/サービス設定がメール送信を行わない設定になっている
- 1.6 ユーザ設定がメール送信を行わない設定になっている
- 1.7 通知を行う時間帯から外れている
- 1.8 通知時間帯設定から該当時間が除外されている
- 1.10ホストダウンだけが送信されサービスが送信されない

青枠内に通知履歴が表示されているにも関わらずメールを受信しない場合、X-MON の通知設定は正しく設定されています。

以下の可能性があります。

- 1.9 メールアドレスが誤っている



1.1 X-MON 全体の通知設定が無効になっている

以下、黄枠部分ヘッダーアイコンをご確認ください。



ヘッダーアイコンに ボタンが表示されている場合、X-MON 全体の設定のうち単体、もしくは複数件、無効に設定されているものがあります。

 ボタンをクリックし、設定情報が確認できる画面（プロセス情報画面）へ遷移します。



上記青枠にある「通知及びエスカレーション」と記載されている部分が  と表示されている場合、現在通知及びエスカレーション設定が **無効** になっていることを表しています。

 と表示されている場合、現在通知及びエスカレーション設定は **有効** になっている為設定変更を行う必要はございません。

以下設定変更手順はスキップしていただいて結構です。

有効へ切り替える場合、 部分をクリックしてください。

理由があり設定を無効にしている可能性がございますので、設定変更の可否をご確認の上設定変更を行ってください。

「通知及びエスカレーション設定」部分が  になっていることを確認してください。

これで X-MON 全体の通知設定は **有効** になりました。

「2 再度テストメールを手動で送信する」を参照し、テストで障害を発生させ、メール通知が行われるかご確認ください。

1.2 X-MON サーバのメール送信設定が誤っている

X-MON サーバのメール送信設定が誤っている可能性があります。

管理者メニュー「エスカレーション関連設定」をクリックし、赤枠内「メール送信設定」をクリックします。

エスカレーション関連設定一覧

メール送信設定

X-MONからメールを送信する際のメールサーバ設定を行います。

通知メール文章設定

通知メールの文章を任意の設定に変更します。

「メール送信設定」画面へ遷移後、以下青枠内の設定情報の見直しと、送信先アドレスを入力して「メール送信テスト」を行い、正常にテストメールが受信できるかどうか確認してください。

メール送信設定

← 一覧へ

メール送信設定

メール送信の方法
 コマンドによる送信 SMTPサーバ経由での送信

メールの送信者アドレス
[入力欄]
※ メールアドレスのドメインは存在するものを指定してください。存在しないドメインからのメールは、宛先のメールサーバより拒否される可能性があります。

エラーメールの送信先
[入力欄]

SMTPサーバ
[入力欄]

SMTPポート
[入力欄]

暗号化
暗号化を行わない

SMTP認証の使用
無効にする

SMTP認証のユーザーID
[入力欄]

SMTP認証のパスワード
[入力欄]

メール送信テスト

送信先アドレス
[入力欄] → テスト送信

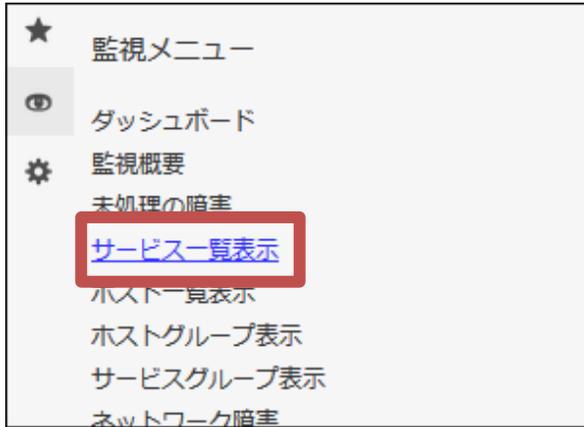
誤りがある場合、設定の変更をお願いいたします。

変更の可否をご確認の上設定変更を行ってください。

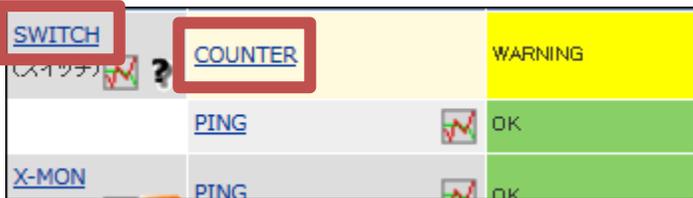
1.3 障害ステータスがハードになっていない

監視の試行回数がハード状態に達していない可能性があります。

監視メニューを開き「サービス一覧表示」をクリックします。



メール通知を行ったホスト、またはサービス名をクリックします。



「ホスト情報」画面、または「サービス情報」画面で以下赤枠内「ホスト詳細」「サービス詳細」タブをクリックします。



「現在の試行数」項目が「3/3」など左の数字と右の数字が同じ、試行回数が上限に達した状態（ハード状態）になっているか確認してください。

パフォーマンスデータ	
現在の試行数:	1/3(ソフト状態)
最終チェック時間:	2019年09月27日 09時45分08秒
チェックタイプ:	パッシブ
チェックの待機時間/遅延時間:	0.596/ 秒
次回動作チェックのスケジュール:	2019年09月27日 09時46分08秒
最終ステータス変化時間:	2019年09月27日 09時45分08秒
最終通知時間:	N/A(通知回数 0)
フラッピングの実行状態	N/A
ダウンタイムのスケジュール	いいえ
最終更新時間:	2019年09月27日 09時45分10秒

「1/3」や「2/3」のように試行数が最大に達していない状態の場合、障害が発生していてもメール通知を行う段階まで至っていません。

試行回数を調整したい場合は、管理者メニュー「ホスト・サービス管理」より設定変更を行ってください。

理由があり試行数を多めに設定している可能性がございますので、変更の可否をご確認の上設定変更を行ってください。

「2 再度テストメールを手動で送信する」を参照し、テストで障害を発生させ、メール通知が行われるかご確認ください。

1.4 エスカレーション設定がメール送信を行わない設定になっている

管理者メニュー「エスカレーション設定」でホスト、またはサービスに関連付けたエスカレーション設定で通知を行わない設定になっている可能性があります。

管理者メニューを開き「ホスト・サービス管理」をクリックし「ホスト・サービス一覧」画面へ遷移します。



ホストエスカレーションでうまく通知が行われなかった場合「ホストエスカレーション設定」ボタンをクリックし、サービスエスカレーションでうまく通知が行われなかった場合「サービス設定」ボタンをクリックし「サービス一覧」画面へ遷移後、対象サービス名横の「サービスエスカレーション設定」ボタンをクリックします。

<input type="checkbox"/> RDS	? RDS		有効 0	無効 0	NRPE OK	SNMP -	WMI -	
→ 詳細表示	サービス設定	→ ホストエスカレーション設定						
<input type="checkbox"/> S3	? S3		有効 0	無効 0	NRPE OK	SNMP -	WMI -	
→ 詳細表示	サービス設定	→ ホストエスカレーション設定						
<input type="checkbox"/> SERVER_01	? SERVER_01		有効 0	無効 0	NRPE OK	SNMP -	WMI -	
→ 詳細表示	サービス設定	→ ホストエスカレーション設定						
<input type="checkbox"/> SWITCH	? スイッチ		有効 0	無効 0	NRPE -	SNMP -	WMI -	
→ 詳細表示	サービス設定	→ ホストエスカレーション設定						
<input type="checkbox"/> Windows	? Windows		有効 0	無効 0	NRPE OK	SNMP -	WMI -	
→ 詳細表示	サービス設定	→ ホストエスカレーション設定						
<input type="checkbox"/> X-MON	X-MON		有効	無効	NRPE	SNMP	WMI	

対象のホスト・サービスに関連付けられたエスカレーション設定の一覧が表示されますので、青枠パネル部分をご確認ください。

エスカレーション設定

ホスト設定 | サービス設定

戻る 新規作成 削除 削除と承認 エスカレーション対象一括編集

絞り込み検索

ホスト検索: SWITCH x
X-MON 検索項目が対象に所属する 検索

ステータス: DOWN UNREACHABLE 復旧 フラッピング 認知済み ダウンタイム 有効 / 無効: 全て

再通知: 繰り返し 障害ステータス変更時 復旧時 コマンドタイプ: 全て

障害時メール通知

DOWN UNREACHABLE 復旧 発生時 OperatorGroup(障害通知連絡グループ)

通知設定が「無効」になっている場合、背景色が灰色になっています。
有効にするには赤枠の「Off」ボタンを押して「On」にしてください。

障害時メール通知

対象: SWITCH
設定方法: 時間指定 / 通知時間帯: 24時間365日 / 初回通知の遅延時間: 0分

DOWN UNREACHABLE 復旧 発生時 OperatorGroup(障害通知連絡グループ)
Leader(チームリーダー)
E-MAILアドレス
携帯モバイル用E-MAILアドレス
Operator(オペレータ)
E-MAILアドレス
携帯モバイル用E-MAILアドレス

Off

通知先の「グループ名称」、または「ユーザ名称」をクリックすると、登録されている通知先とアドレスが表示されます。

障害時メール通知

対象: SWITCH
設定方法: 時間指定 / 通知時間帯: 24時間365日 / 初回通知の遅延時間: 0分

DOWN UNREACHABLE 復旧 発生時 OperatorGroup(障害通知連絡グループ)
Leader(チームリーダー)
E-MAILアドレス
携帯モバイル用E-MAILアドレス
Operator(オペレータ)
E-MAILアドレス
携帯モバイル用E-MAILアドレス

On

通知対象のステータスが以下青枠内部分に表示されます。

設定が誤っている場合、パネル内以下赤枠部分マークをクリックし設定画面を開き、再設定をお願いいたします。

メールアドレスが誤っている場合、管理者メニュー「ユーザ管理」よりメールアドレスの再設定をお願いいたします。

「通知のタイミング」、「実行内容」で指定した通知先グループ、または通知先ユーザ、「対象ステータス」に誤りがないか確認し、変更が必要な場合再設定をお願いいたします。

理由があり通知タイミングを遅らせたり、対象ステータスを外していたりする可能性がございますので、変更の可否をご確認の上設定変更を行ってください。

「2 再度テストメールを手動で送信する」を参照し、テストで障害を発生させ、メール通知が行われるかご確認ください。

1.5 ホスト/サービス設定がメール送信を行わない設定になっている

管理者メニュー「ホスト・サービス管理」でホスト、またはサービスの登録、編集時に通知を行わない設定になっている可能性があります。

管理者メニューを開き「ホスト・サービス管理」をクリックし「ホスト・サービス一覧」画面へ遷移します。



ホストでうまく通知が行われなかった場合「詳細表示」ボタンをクリックし、サービスでうまく通知が行われなかった場合「サービス設定」ボタンをクリックし「サービス一覧」画面へ遷移後、対象サービス名横「詳細表示」ボタンをクリックします。

<input type="checkbox"/> RDS	? RDS		有効 0	無効 0	NRPE OK	SNMP -	WMI -	
→ 詳細表示 サービス設定 → ホストエスカレーション設定								
<input type="checkbox"/> S3	? S3		有効 0	無効 0	NRPE OK	SNMP -	WMI -	
→ 詳細表示 サービス設定 → ホストエスカレーション設定								
<input type="checkbox"/> SERVER_01	? SERVER_01		有効 0	無効 0	NRPE OK	SNMP -	WMI -	
→ 詳細表示 サービス設定 → ホストエスカレーション設定								
<input type="checkbox"/> SWITCH	? スイッチ		有効 0	無効 0	NRPE -	SNMP -	WMI -	
→ 詳細表示 サービス設定 → ホストエスカレーション設定								
<input type="checkbox"/> Windows	? Windows		有効 0	無効 0	NRPE OK	SNMP -	WMI -	
→ 詳細表示 サービス設定 → ホストエスカレーション設定								
<input type="checkbox"/> X-MON	POWER ON X-MON		有効	無効	NRPE	SNMP	WMI	

「ホストの詳細」画面、または「サービスの詳細」画面内「基本設定」タブをご確認ください。



サービスの詳細

← 戻る 編集 ↓ すべて開く

基本設定

ホストID(英数字)	SWITCH
サービスID(英数字)	COUNTER
サービス監視用コマンド	
通知及びエスカレーション機能	有効にする
イベントハンドラ	有効にする
イベントハンドラコマンド	無

「通知及びエスカレーション機能」項目が「無効にする」となっていた場合、「有効にする」へ変更してください。

理由があり無効にしている可能性がございますので、変更の可否をご確認の上設定変更を行ってください。

「2 再度テストメールを手動で送信する」を参照し、テストで障害を発生させ、メール通知が行われるかご確認ください。

1.6 ユーザ設定がメール送信を行わない設定になっている

管理者メニュー「ユーザ管理」でユーザの登録、編集時に通知を行わない設定になっている可能性があります。

管理者メニューを開き「ユーザ管理」をクリックし「ユーザー一覧」画面へ遷移します。



対象ユーザ名横の「詳細表示」ボタンをクリックします。

A screenshot of the 'ユーザー一覧' (User List) page. At the top, there are navigation links: ユーザ管理 | ユーザグループ管理 | LDAPサーバ管理. Below the links are three buttons: 新規作成 (green plus icon), 削除 (red X icon), and 削除と承認 (blue circular arrow icon). The main content is a table with the following data:

ID	名称	認証方式	権限	最終ログイン	操作
<input type="checkbox"/> Leader	チームリーダー	ログインを許可しない	オペレータ	-	→ 詳細表示
<input type="checkbox"/> Operator	オペレータ	X-MONローカル認証	オペレータ	-	→ 詳細表示
<input type="checkbox"/> Senior	運用責任者	X-MONローカル認証	運用責任者	2019年09月27日 10時45分31秒	→ 詳細表示
<input type="checkbox"/> admin	管理者	X-MONローカル認証	システム管理者	2019年09月27日 08時41分31秒	→ 詳細表示

The '→ 詳細表示' button for the 'Senior' user is highlighted with a red box.

「ユーザの詳細」画面内「通知の詳細設定」タブをご確認ください。

▼通知のタイミング	
ホスト通知の有効化 有効にする	
ホスト通知を行う時間帯 平日9時-18時	
ホスト通知対象 ホストがDOWNの際に通知する ホストがUNREACHABLEの際に通知する ホストが復旧した際に通知する	
サービス通知の有効化 有効にする	
サービス通知を行う時間帯 平日9時-18時	
サービス通知対象 サービスがWARNINGの際に通知する サービスがUNKNOWNの際に通知する サービスがCRITICALの際に通知する サービスが復旧した際に通知する	

「ホスト通知の有効化」「サービス通知の有効化」項目が「有効にする」、「ホスト通知対象」「サービス通知対象」項目に漏れがないかご確認ください。

漏れがない場合、「ホスト通知を行う時間帯」「サービス通知を行う時間帯」項目をメモし、「1.7 通知を行う時間帯から外れている」をご確認ください。

理由があり設定している可能性がございますので、変更の可否をご確認の上設定変更を行ってください。

「2 再度テストメールを手動で送信する」を参照し、テストで障害を発生させ、メール通知が行われるかご確認ください。

1.7 通知を行う時間帯から外れている

「1.5 ホスト/サービス設定がメール送信を行わない設定になっている」

「1.6 ユーザ設定がメール送信を行わない設定になっている」

で通知の有無を確認し問題がなかった場合、通知を行う時間帯から外れている可能性があります。

メモしておいた「通知時間帯」項目を確認していきます。

管理者メニュー 「高度な設定」 グループの「時刻設定管理」をクリックします。



メモしておいた時刻設定横の「詳細表示」ボタンをクリックします。

The image shows the '時刻設定一覧' (Time Setting List) page. At the top, there are four buttons: 一覧へ (Back to List), 新規作成 (New Creation), 削除 (Delete), and 削除と承認 (Delete and Approve). Below the buttons is a table with the following data:

ID	名称	操作
<input type="checkbox"/> 24x7	24時間365日	→ 詳細表示 🔍 使用状況の確認
<input type="checkbox"/> weekdays	平日9時-18時	→ 詳細表示 🔍 使用状況の確認

The '→ 詳細表示' button for the 'weekdays' row is highlighted with a red box.

「日曜日の監視時間帯」から「土曜日の監視時間帯」項目を確認してください。

障害が発生した時間が時間帯から漏れていないかご確認ください。

日曜日の監視時間帯 無し	
月曜日の監視時間帯 09:00-18:00	
火曜日の監視時間帯 09:00-18:00	
水曜日の監視時間帯 09:00-18:00	
木曜日の監視時間帯 09:00-18:00	
金曜日の監視時間帯 09:00-18:00	
土曜日の監視時間帯 無し	
監視を除外する日付や期間 お昼休み	

漏れない場合、「監視を除外する日付や期間」項目をメモし、「1.8 通知時間帯設定から該当時間が除外されている」をご確認ください。

漏れている場合、設定の変更をお願いいたします。

理由があり空き時間を設定している可能性がございますので、変更の可否をご確認の上設定変更を行ってください。

「2 再度テストメールを手動で送信する」を参照し、テストで障害を発生させ、メール通知が行われるかご確認ください。

1.8 通知時間帯設定から該当時間が除外されている

「1.7 通知を行う時間帯から外れている」

で時間帯を確認し問題がなかった場合、除外時刻設定がされている可能性があります。

メモしておいた「監視を除外する日付や期間」項目を確認していきます。

管理者メニュー 「高度な設定」 グループ内「除外時刻設定管理」をクリックします。



メモしておいた時刻設定横の「詳細表示」ボタンをクリックします。



「除外日付」「除外監視時間帯」項目を確認してください。

障害が発生した時間が時間帯から外れていないかご確認ください。

除外時刻設定の詳細

戻る 編集

時刻ID(英数字)	Lunch
除外時刻名称	お昼休み
除外日付	毎日
除外監視時間帯	12:00-13:00

外れている場合、設定の変更をお願いいたします。

理由があり除外時間を設定している可能性がありますので、変更の可否をご確認の上設定変更を行ってください。

「2 再度テストメールを手動で送信する」を参照し、テストで障害を発生させ、メール通知が行われるかご確認ください。

1.9 メールアドレスが誤っている

通知履歴が記載されているにもかかわらず、メールが受け取れない場合、ユーザ管理で登録したアドレスが誤っている可能性があります。

以下、「ホスト情報」画面、または「サービス情報」画面「通知履歴」タブに表示されている青枠内「通知先」をメモしておいてください。

サービス情報

SWITCH(スイッチ)
サービスID: COUNTER
IPアドレス/FQDN: [REDACTED]

ホストグループ: [○○グループ](#)
サービスグループ: 所属なし
最終チェック時刻: 2019年09月27日 13時49分38秒
次回チェック予定: 2019年09月27日 13時54分38秒

その他のコマンド

戻る

障害対応ガイド サービス詳細 ドキュメント リンク 構成情報 イベントログ **通知履歴** 外部コマンド履歴 コメント

24時間内に発生したこのサービスの通知履歴を20件表示します。

日時	タイプ	通知コマンド (通知先)	ステータス情報
2019/09/27 13:49:38	警告状態(WARNING)	チームリーダー (Leader)	

このサービスの通知履歴を表示する

管理者メニューを開き「ユーザ管理」をクリックし「ユーザー一覧」画面へ遷移します。

- ★ 管理者メニュー
- 👁️ > ホスト・サービス管理
- ⚙️ > ホスト・サービス一括設定
- > ユーザ管理**
- Webストーリー管理
- SNMP TRAP管理
- syslog管理
- エスカレーション設定
- > エスカレーション関連設定

先ほどメモしておいた「通知先」と以下青枠「ID」項目が一致しているユーザ名横の「詳細表示」ボタンをクリックし「ユーザの詳細」画面へ遷移します。

ユーザー一覧

ユーザ管理 | ユーザグループ管理 | LDAPサーバ管理

ID	名称	認証方式	権限	最終ログイン	操作
<input type="checkbox"/> Leader	チームリーダー	ログインを許可しない	オペレータ	-	<input type="button" value="→ 詳細表示"/>
<input type="checkbox"/> Operator	オペレータ	X-MONローカル認証	オペレータ	-	<input type="button" value="→ 詳細表示"/>
<input type="checkbox"/> Senior	運用責任者	X-MONローカル認証	運用責任者	2019年09月27日 10時45分31秒	<input type="button" value="→ 詳細表示"/>
<input type="checkbox"/> admin	管理者	X-MONローカル認証	システム管理者	2019年09月27日 08時41分31秒	<input type="button" value="→ 詳細表示"/>

「基本設定」タブ内で設定したメールアドレス「E-MAIL アドレス」、「携帯モバイル E-MAIL アドレス」項目をご確認ください。

誤っている場合、「編集」ボタンを押しアドレスを再設定してください。

<p>認証方式</p> <p>ログインを許可しない</p>
<p>ユーザのデフォルトダッシュボード設定</p> <p>システムのデフォルト設定</p>
<p>連絡先電話番号 (Twilio API連携)</p> <p>無し</p>
<p>E-MAILアドレス</p> <p>[Redacted]</p>
<p>携帯モバイル用E-MAILアドレス</p> <p>[Redacted]</p>

「2 再度テストメールを手動で送信する」を参照し、テストで障害を発生させ、メール通知が行われるかご確認ください。

1.10 ホストダウンだけが送信されサービスが送信されない

サービスで障害が発生したにも関わらず、ホスト障害の通知メールのみ送信される場合があります。

ホストの監視設定がオンデマンドホストチェックに設定されている可能性があります。

ホストの「監視間隔」項目が「0」分で設定されている場合、対象ホストはオンデマンドホストチェック状態になります。

※オンデマンドホストチェックとは

対象ホストに含まれるサービスで障害が発生した場合に限り、ホストのチェックが実行されます。

ホストがダウンしていることを検知した場合、ホスト通知が優先され、サービスの通知を行いません。

以下、どちらかの手順よりホストの監視設定をご確認ください。

管理者メニュー「ホスト・サービス管理」から対象ホストの設定詳細画面へ遷移し「監視間隔(分)」項目を確認してください。

▶ WMI認証設定
▶ AWS設定
▼ 監視の詳細設定
アクティブチェック 有効にする
パッシブチェック 有効にする
監視時間帯 24時間365日
試行回数 1
監視間隔(分) 0
再試行間隔(分) 1
▶ フラッピングの設定

管理者メニュー「各種設定表示」から赤枠「項目の表示/非表示」内「監視の詳細設定」にチェックを入れ、対象ホストの「監視間隔(分)」項目をご確認ください。

各種設定表示

ホスト | [ホストエスケレーション](#) | [ホストグループ](#) | [サービス](#) | [サービスエスケレーション](#) | [サービスグループ](#) | [ユーザ](#) | [ユーザグループ](#) | [コマンド](#) | [時間帯](#) | [リンク](#)

操作

ホストの検索
 ホスト名称

ファイルエクスポート

 マスキングされたパスワード関連を隠さず出力
 検索したホスト情報のみを出力

項目の表示/非表示

- 全項目
- 所属しているホストグループ 種別 ログイメージ
- IPアドレス/FQDN MACアドレス ホスト監視用コマンド
- 引数 (縦並び) 引数 (横並び) 親ホスト
- 通知及びエスケレーション機能 イベントハンドラ
- WMI認証設定 WMI認証設定 AWS認証設定
- 監視の詳細設定** フラッピングの設定 高度な設定

検索条件
 ホスト名称: スイッチ

※リンクにカーソルを合わせると遷移先を表示します。

ホストID/ホスト名称	ログイメージ	ホスト監視用コマンド	監視の詳細設定					
			アクティブチェック	パッシブチェック	監視時間帯	試行回	監視間隔(分)	実行間隔(分)
SWITCH / スイッチ	?	PING監視(ホスト用)	有効にする	有効にする	24時間365日	1	0	1

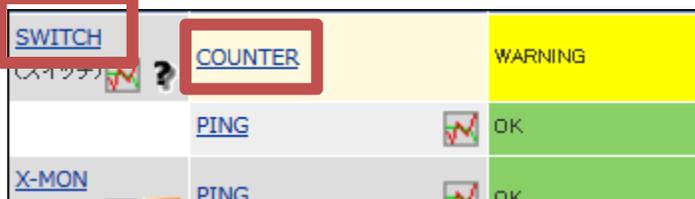
2 再度テストメールを手動で送信する

X-MON では、障害を発生させずテストメールを送信するといった機能を備えておりません。

わざと手動で障害を発生させ、メールを送信させる必要がございます。

既に監視が動いており、周囲に障害を手動で発生させる旨を伝えておく必要がある場合、伝えた上で以下の作業を行ってください。

監視メニューを開き「サービス一覧表示」からメール通知を行ったホスト、またはサービス名をクリックします。



「ホスト情報」画面、または「サービス情報」画面で以下赤枠内「パッシブチェックの結果を送信」ボタンをクリックします。



サービス情報

SWITCH(スイッチ)
サービスID: COUNTER
IPアドレス/FQDN: [REDACTED]

ホストグループ: OQグループ
サービスグループ: 所属なし
最終チェック時刻: 2019年09月27日 09時52分12秒
次回チェック予定: 2019年09月27日 09時57分12秒

-- その他コマンド --

← 戻る

障害対応ガイド サービス詳細 ドキュメント リンク 構成情報 イベントログ 通知履歴 外部コマンド履歴 コメント

24時間内に発生したこのサービスの通知履歴を20件表示します。

日時	タイプ	通知コマンド (通知先)	ステータス情報
24時間内に発生した通知履歴はありません			

このサービスの通知履歴を表示する



ボタンをクリックすると、外部コマンド「指定したサービスにパッシブチェックの結果を送信する」画面が表示されます。

以下、赤枠内「チェック結果」項目と「チェック出力」項目を入力の上、[発行] ボタンをクリックします。

「チェック結果」項目は該当する障害を選択し、「チェック出力」項目は任意のメッセージで構いませんが、「テスト通知です。」などわかりやすいメッセージにしておくとい良いでしょう。

外部コマンド

赤字の項目は必ず入力してください。入力していない場合エラーとなります。

リクエストしたコマンド: 指定したサービスにパッシブチェックの結果を送信する。

ホストID:	SWITCH
サービスID:	COUNTER
チェック結果:	OK
チェック出力:	
パフォーマンスデータ:	

← 戻る → 発行

しばらくすると外部コマンドの発行が完了し、「コマンドを正常に受け付けました。」と表示された画面が表示されます。「了解」部分をクリックし、ホスト/サービス情報画面へ遷移しなおします。

サービス情報

SWITCH(スイッチ)
サービスID: COUNTER
IPアドレス/FQDN: [REDACTED]

ホストグループ: [○○グループ](#)
サービスグループ: 所属なし
最終チェック時刻: 2019年09月27日 09時52分12秒
次回チェック予定: 2019年09月27日 11時51分12秒

⏪ ⚠️ ⏩ ☕

-- その他コマンド --

← 戻る

障害対応ガイド サービス詳細 ドキュメント リンク 構成情報 イベントログ 通知履歴 外部コマンド履歴 コメント

ハード状態、エスカレーション設定の実行開始回数になるまで  ボタンをクリックし、「パッシブチェックの結果を送信」を行ってください。

試行回数「3」回で設定されている場合、外部コマンド「パッシブチェックの結果を送信」を3回行っていただく必要がございます。

例)

現ステータス「OK (ハード)」⇒「パッシブチェックの結果を送信 (WARNING を指定)」⇒ステータス「WARNING (ソフト 1/3)」⇒「パッシブチェックの結果を送信 (WARNING を指定)」⇒ステータス「WARNING (ソフト 2/3)」⇒「パッシブチェックの結果を送信 (WARNING を指定)」⇒ステータス「WARNING (ハード 3/3)」

※対象ホスト、またはサービスの再試行間隔を「1」分で設定している場合、上記例の赤字部分、障害ステータスに変化した時点より「1」分以内にハード状態にしていだかないと再チェックが実行されるため、ステータス「OK」に戻る恐れがございます。手早く外部コマンド「パッシブチェックの結果を送信」を繰り返し実行いただくか、困難な場合、再試行間隔を大きく変更の上、実行をお願いいたします。

現在の状態:	警告(WARNING)
ステータス情報:	(0日間と 00時間00分12秒前より継続しています。) テスト通知です。
現在の試行数:	1/3(ソフト状態)
チェックタイプ:	パッシブ
チェックの待機時間/遅延時間:	0.000/ 秒
次回動作チェックのスケジュール:	2016年01月28日 14時56分30秒

現在の状態:	警告(WARNING)
ステータス情報:	(0日間と 00時間00分59秒前より継続しています。) テスト通知です。
現在の試行数:	2/3(ソフト状態)
チェックタイプ:	パッシブ
チェックの待機時間/遅延時間:	0.000/ 秒
次回動作チェックのスケジュール:	2016年01月28日 14時57分26秒

現在の状態:	警告(WARNING)
ステータス情報:	(0日間と 00時間00分22秒前より継続しています。) テスト通知です。
現在の試行数:	3/3(ハード状態)
チェックタイプ:	パッシブ
チェックの待機時間/遅延時間:	0.000/ 秒
次回動作チェックのスケジュール:	2016年01月28日 14時58分27秒

「通知履歴」タブを確認し、X-MON からメールが送信されていることを確認の上、メールを受信しているかご確認ください。

「通知履歴」タブにメール通知履歴が追加されない場合、もう一度「[1 障害発生時、うまくメールが送信されない](#)」を順にご確認ください。